多摩大学社会的投資研究所／価値を大切にする金融実践者の会（JPBV）共催

地域金融機関のためのインパクト評価実践講座

2021年5月29日

プログラム説明会資料

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

本日のプログラム

18時～19時

■ なぜ今、インパクト評価なのか？

■「地域金融機関のためのインパクト評価実践講座」の概要

■ 主催団体紹介

■ Q&A

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

なぜ今、インパクト評価なのか？

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

インパクト評価に対する関心の高まりの背景

社会の変化

- SDGsの普及
- 持続可能性への関心の高まり

市場の変化

- サステナブル／ESG投資の拡大
- インパクト投資の登場

政策の変化

- ESG金融の促進
- サステナブル金融の促進

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

グローバルに発展するインパクト金融・評価

インパクト評価手法の標準化に向けた取り組み

国連環境計画（2017）
ポジティブ・インパクト金融原則

国際金融公社（2019）
インパクト・マネジメント運営原則

国連開発計画（2019）
SDG Impactプロジェクト

国際資本市場協会
サステナブル・ボンド原則他

インパクト・マネジメント・プロジェクト
ABCと5次元分類に基づくインパクト

グローバル・インパクト投資ネットワーク
インパクト評価・報告標準のためのIRIS＋

インパクト金融のグローバル・ネットワーク

国連責任銀行原則

国連責任投資原則

グローバル・サステナブル投資連合

グローバル・インパクト投資推進グループ

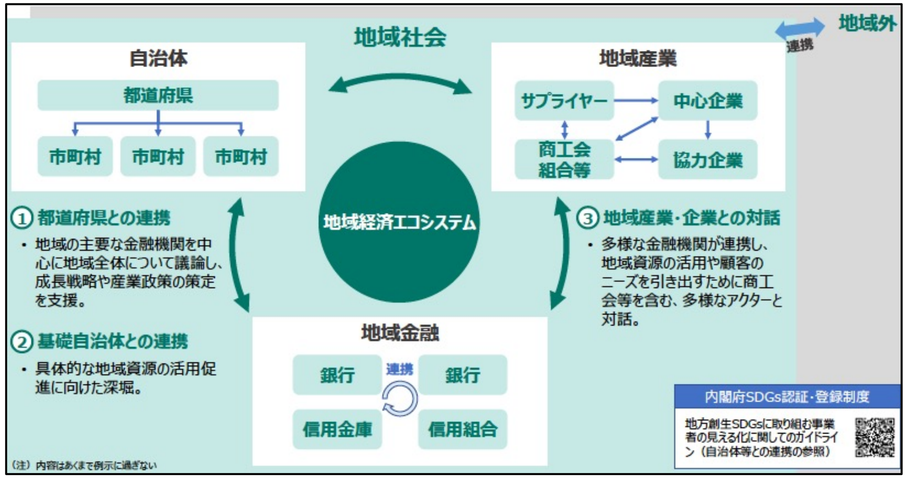
Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

日本の動向

主要省庁の取り組み

環境省	**ESG金融懇談会／ESG金融ハイレベル・パネル** ➢ インパクトファイナンスの基本的考え方 ➢ インパクト評価ガイドライン ➢ ESG地域金融実践ガイド
内閣府	**地方創生SDGs金融調査・研究会** ➢ 地方創生SDGs登録・認証等制度ガイドライン ➢ 地方創生SDGs金融の自立的好循環形成に向けて
金融庁	**サステナブルファイナンス有識者会議**

地域循環共生圏の創出に向けた
地域経済エコシステム（環境省）

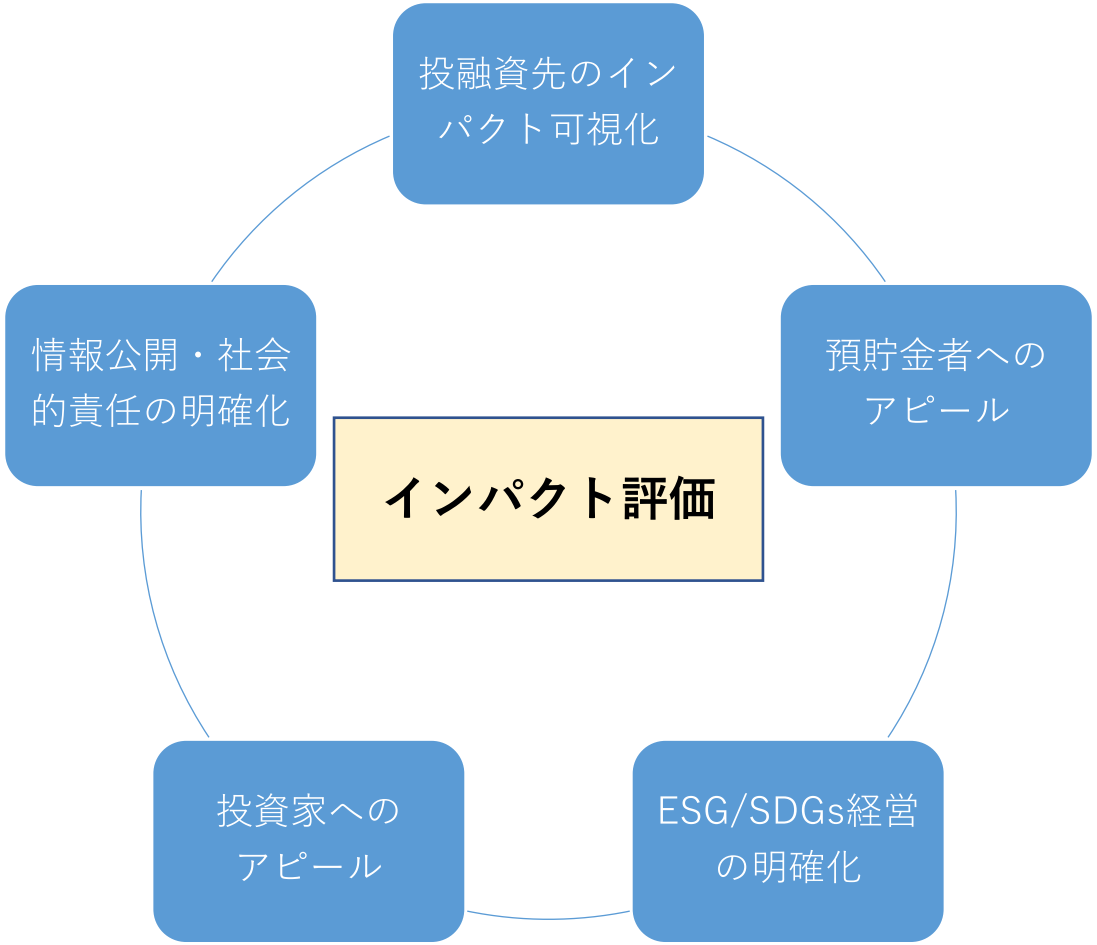


地方創生SDGs金融を通じた
自律的好循環形成の全体像（内閣府）

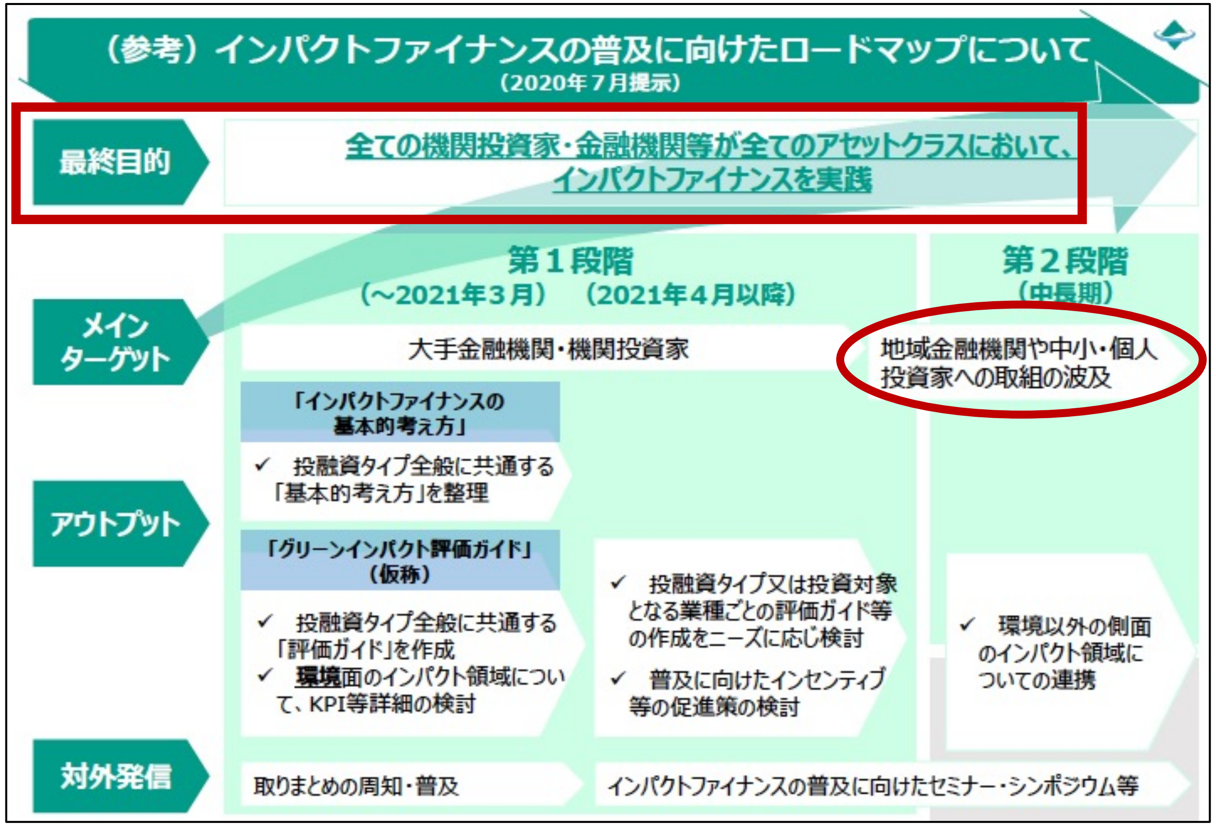
Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

インパクト評価の意義と展望

インパクト評価を実施する意義



インパクト評価の今後の展望



（環境省「インパクト評価ガイドライン」より）

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

「地域金融機関のためのインパクト評価実践講座」概要

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

「地域金融機関のためのインパクト評価実践講座」概要

プログラム

［主催］多摩大学社会的投資研究所
価値を重視する金融実践者の会（JPBV）
［講師］小林立明（多摩大学社会的投資研究所　主任研究員）
大濱匠一（多摩大学社会的投資研究所　客員研究員）
江上広行（URUU代表取締役、JPBV事務局長）
［アドバイザー］
佐々木清隆（一橋大学客員教授、元金融庁総合政策局長）
内田浩史（神戸大学大学院経営学研究科教授）
［期間］2021年7月～12月　第一土曜日午前9時～12時（全6回）
［対象］地域金融機関職員（地銀、信金･信組、金庫、証券会社等）
［定員］20名上限
［概要］座学とグループ･ワーク。セッションごとに課題あり。
［費用］12万円（JPBVメンバーは、9万円）
［申込］オンライン申込（先着順）。6月11日（金）〆切

講師

小林立明
多摩大学社会的投資研究所　主任研究員

国際交流基金、日本財団勤務、学習院大学准教授等を経て、2020 年4 月より現職。ジョンズ・ホプキンス大学市民社会研究所でソーシャル・ファイナンスやインパクト評価を研究。主要著書に「入門ソーシャル・セクター」（共著）等。

大濱匠一
多摩大学社会的投資研究所　客員研究員

1980年横浜銀行入行、2001年NY駐在員事務所等を経て営業戦略本部等勤務。現在、ソーシャルファイナンスをテーマに横浜国立大学博士課程で研究を継続しつつ、JPBV事務局の活動を支援。CFA、日本証券アナリスト協会検定会員。

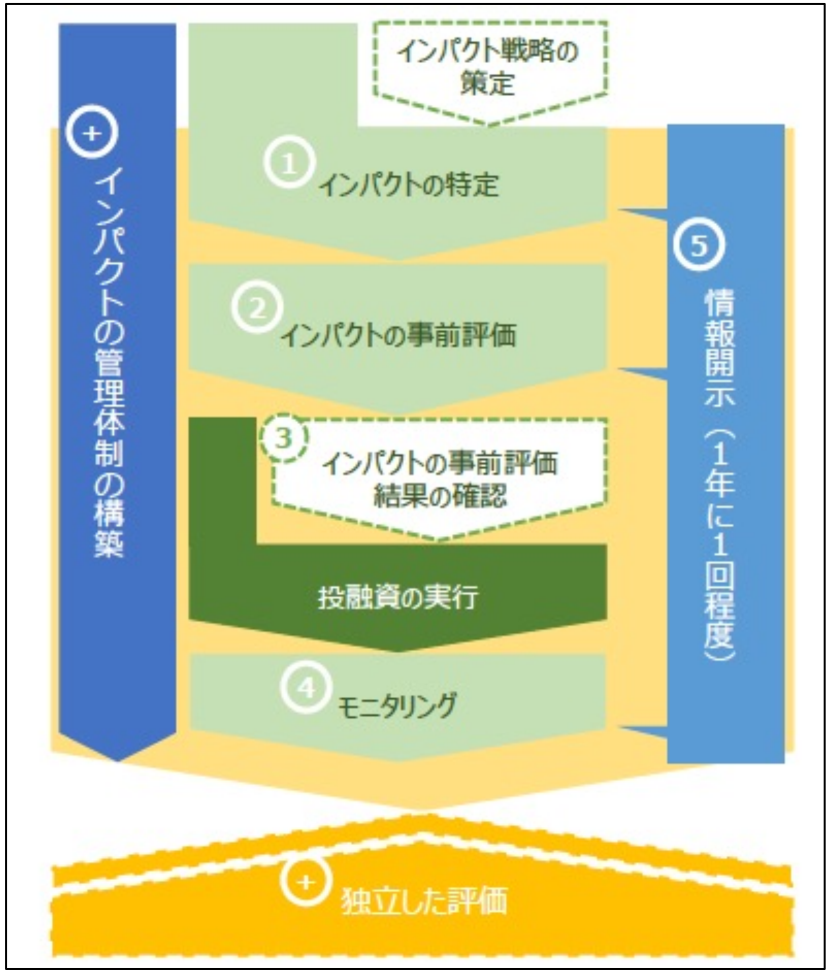
江上広行
株式会社URUU 代表取締役／JPBV事務局長

地方銀行、システム開発会社を経て2018年株式会社URUU を設立。金融機関の組織開発、リーダーシップ教育に取り組む。同年、JPBVを発足。主要著書に、「誇りある金融」、「金融機関のしなやかな変革」等。

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

「地域金融機関のためのインパクト評価実践講座」概要

インパクト評価手順



（環境省「インパクト評価ガイドライン」より）

カリキュラム

第1回 (7/3)	■ イントロダクション ■ インパクト・ファイナンスとインパクト分析
第2回 (8/7)	■ インパクト特定の基本的考え方 ■ インパクト領域の設定（演習）
第3回 (9/4)	■ インパクト事前評価の基本的考え方 ■ KPIと目標の設定（演習）
第4回 (10/2)	■ インパクト審査・モニタリングの基本的考え方 ■ 事業性評価へのインパクト設定とモニタリング（演習）
第5回 (11/6)	■ インパクト評価・報告・管理体制の基本的考え方 ■ インパクト報告の策定（演習）
第6回 (12/4)	■ 受講生プレゼンテーション ■ 講評・総括

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

「インパクト評価実践講座」5つの特徴

- 地域金融機関に特化したプログラム
- 評価専門家と地域金融専門家による丁寧な指導
- 地域金融機関職員のネットワークにも参加できる
- 「ガイドライン」では分からない評価スキルを学ぶ
- 6ヶ月間の講座を通じて理論から実践までを身につける

■ 地域金融機関に特化

■ 学びのコミュニティ

■ 理論から実践まで

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

こんな人にお勧めです

✓	**国連責任銀行原則担当者**	所属組織が国連責任銀行原則（PRB）への署名を検討しており、署名行に求められるインパクト評価・報告を理解しておきたい。
✓	**年次報告担当者**	経営陣から、年次報告に、非財務情報としてSDGsへの貢献や地域社会への貢献を盛りこむよう求められており、インパクト評価・報告の手法を学びたい。
✓	**CSR担当者**	CDR担当として、色々なプログラムを企画・実施しており、これがどのような社会・環境面でインパクトを出したかをきちんと評価・報告したい。
✓	**NPO/SB・CB融資担当者**	NPOやコミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネスへの融資プログラムを担当しており、融資プログラムの社会・環境インパクトを可視化したい。
✓	**地域ベンチャー・ファンド担当者**	地域経済活性化のためのベンチャー・ファンドを担当しているが、経済面だけでなく、社会・環境面でも地域に貢献するファンドにしたい。

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

さらに、こんな人にもお勧めです

✓	**金融商品開発担当者**	SDGsへの貢献に向けた具体的な金融商品やサービスの開発にあたって、その社会面・環境面での成果を図りたい。
✓	**自治体担当者**	地元経済の低迷、働き手の不足や自然災害の増加など地域の抱える課題について自治体等と一緒になって解決方法を考えたい。
✓	**法人融資・渉外担当者**	SDGsに取り組んでいる地域企業、環境・社会的課題解決のための技術力、製品・サービスを有している地元企業の発掘・支援を行いたい。

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

お申し込み方法

ステップ1	オンライン受講申込みフォームから登録してください。
ステップ2	多摩大学社会的投資研究所から確認のメールをお送りします。メールに従い、指定口座に受講料をお振り込みください。
ステップ3	受講料の入金確認後、多摩大学社会的投資研究所より領収書を送付します。
ステップ4	全受講者の登録が完了したら、オンライン講座のアクセス・サイトと受講資料を送付します。

オンライン受講申込みサイト

定員20名・先着順

申込み〆切：6月11日（金）午後5時必着

受講料送金〆切：6月15日（火）必着

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

（注）申込み人数が7名に達しない場合は開講を中止し、受講料は返還します。

実施団体のご紹介

Copyright©2021多摩大学社会的投資研究所

多摩大学社会的投資研究所概要

- **名称**：多摩大学社会的投資研究所
- **住所**：〒108-0075 東京都港区港南2－14－14　品川インターシティフロント5階
- **設立**：2018年6月
- **所長**：徳岡晃一郎（多摩大学大学院MBAコース教授）
- **目的**：社会的投資を中心とした日本におけるソーシャル･ファイナンスの普及・促進
- **事業**：①調査・研究、②教育・研修、③普及･ネットワーク、④コンサルティング
- **組織**：所長1名、副所長1名、上級研究員1名、主任研究員1名、研究員1名、客員研究員28名

HP：https://tama-csi.org
FB：https://www.facebook.com/TamaCSI
E-Mail：info@tama-csi.org

GABV/JPBVとは

GABV （The Global Alliance for Banking on Values)は、実体経済とかけ離れ、「利益」を重視した金融がリーマンショックを引き起こしたとの認識から、コミュニティに根ざした持続可能な社会を実現する金融を目指し、2009年に、オランダのトリオドス銀行、ドイツのGLS銀行等によって結成された国際的なネットワーク組織のことです。持続可能な経済・社会・環境の発展の実現を使命とした「バリュー・ベース・バンキング(価値を大切にする金融)」を標榜しています。
世界各国において、環境金融やマイクロファイナンスなどを行う比較的小規模の金融機関が加盟しています（加盟金融機関63＜2020年2月末現在＞）。
日本では、2018年７月に、第一勧業信用組合が加盟しました。
　GABVでは、「価値を大切にする金融」に関し、６つの原則を掲げています（①社会・環境への影響と持続可能性を中心としたビジネスモデルを中核におくこと、②実体経済への貢献、③顧客本位、④長期的な健全性確保、⑤経営の透明性、⑥以上を金融機関の企業文化にすること）。http://www.gabv.org

JPBV 価値を大切にする金融実践者の会(The Japanese Practitioners for Banking on Values）は日本においてGABVの理念である「価値を大切にする金融」を広めていきたい、との想いを持つ有志によって、2018年12月に設立されました。2020年2月に一般社団法人化し2021年1月末現在、58の一般法人・個人が加盟しています(うち金融機関26)。
　JPBVでは、隔月でワークショップを開催し、バリュー・ベース・バンキングの知見を進化させせながら学んでいるほか、人材育成プログラムや、ソーシャルインパクト計測のモデル事業、DXの研究などの実践活動なども行っています。https://jpbv.jp